

# 2019 台湾日本語教育研究 国際シンポジウム

## —AIと日本語教育との対話— プログラム

場 所 淡江大学淡水キャンパス・驚声ビル 3 階 (新北市淡水區英專路151號)  
 時 間 2019年11月30日 (土曜日)

受付(驚声ビル3階・驚声国際会議場前)

0900-0930	開会式	会 場 驚声国際会議場 司 会 葉 菱 (台湾日本語教育学会事務局長) 開会の辞 曾 秋桂 (台湾日本語教育学会理事長) 吳 萬寶 (淡江大学外国語学部学部長) 松原 一樹 (公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長)		
0940-0950	休憩時間			
0950-1050	基調講演①	会 場 驚声国際会議場 司 会 賴 錦雀 (東呉大学特聘教授) 題 目 自然言語処理の発展と応用 講演者 武田 浩一 (日本名古屋大学教授)		
1050-1100	休憩時間			
1100-1200	基調講演②	会 場 驚声国際会議場 司 会 落合 由治 (淡江大学特聘教授) 題 目 AIは道具である—日本語教育のための自然言語処理の取り組み— 講演者 山本 和英 (長岡技術科学大学准教授)		
1200-1300	■ 1. 会員大会 (会場: 驚声国際会議場)    ■ 2. 昼食 (会場: T310、T311教室)			
	会場 驚声国際会議場	会場 T310教室	会場 T311教室	
1300-1305	セッション① コメンテーター 羅曉勤 (銘伝大学准教授)	セッション② コメンテーター 邱若山 (静宜大学教授兼学科主任)	セッション③ コメンテーター 彭春陽 (淡江大学准教授)	
1305-1325	曾 秋桂 (淡江大学教授) AI技術による日本語教育への応用 —「日文習作(二)」授業を例にして—	落合 由治 (淡江大学特聘教授) 日本語教育におけるAIの自然言語処理の応用	簡 曉花 (中華大学教授) Zuvio IRSを生かした「日本社会と流行文化」授業の試み	
1325-1345	趙 宣映 (韓国仁川大学校准教授) ピア活動による文末表現の習得 —作文の授業の試み—	公文 素子 (高知大学非常勤講師) AIを用いた防災教育の可能性	城戸 秀則 (東呉大学博士課程) 繰り返しを表す語を伴う「する」と習慣を表す「している」の扱い—『みんなの日本語』を例に—	
1345-1355	質疑応答	質疑応答	質疑応答	
1355-1400	休憩時間			
	会場 驚声国際会議場	会場 T310教室	会場 T311教室	
1400-1405	セッション④ コメンテーター 林長河 (銘伝大学教授兼学科主任)	セッション⑤ コメンテーター 羅濟立 (東呉大学教授兼学科主任)	セッション⑥ コメンテーター 范淑文 (台湾大学教授)	
1405-1425	賴 錦雀 (東呉大学特聘教授) AI時代の日本語教育を考える —AIは、敵か味方か—	羅 曉勤 (銘伝大学准教授) ワーキング・ホリデーを利用した台湾人日本語学習経験者の 現状—語りの中からみえてくるもの—	孫 昊 (同志社大学特別研究助手) AI技術を用いた川端康成代筆問題の解明	
1425-1445	奥村 訓代 (高知大学名誉教授) AI時代の日本語教育を考える —AIは、敵か味方か—	黄 淑燕 (東海大学准教授) 日本語教科書と生教材読解の間 —いくつかの語を例に—	蔡 佩青・魏 世杰 (淡江大学准教授・淡江大学准教授) AI人工知能による個性的翻訳の可能性 —ニューラル機械翻訳モデルの性能比較—	
1445-1505	質疑応答 (1445-1455)	渡邊 靖史 (国際教養大学非常勤講師) AI研究とこれからの日本語教育に必要なプロソディー教育 —フォーカス・オン・フォーカス (Focus on Focus)—	葉 菱 (淡江大学助理教授) AIで読む村上春樹 —『風の歌を聴け』を例にして—	
1505-1520		質疑応答	質疑応答	
1520-1525	休憩時間			
1525-1530	テーマ AIと日本語教育との対話 会 場 驚声国際会議場 司 会 曾 秋桂 (淡江大学教授兼学科主任)			
1530-1630	パネルディスカッション パネリスト① 陳 明姿 (台湾大学非常勤教授) パネリスト② 林 長河 (銘伝大学教授兼学科主任) パネリスト③ 邱 若山 (静宜大学教授兼学科主任) パネリスト④ 賴 錦雀 (東呉大学教授) パネリスト⑤ 武田 浩一 (日本名古屋大学教授) パネリスト⑥ 山本 和英 (長岡技術科学大学准教授) パネリスト⑦ 趙 宣映 (韓国仁川大学校准教授) パネリスト⑧ 奥村 訓代 (高知大学名誉教授)			
1630-1700	総合討論			
1700-1705	閉会式	会 場 驚声国際会議場 司 会 葉 菱 (台湾日本語教育学会事務局長) 閉会の辞 曾 秋桂 (台湾日本語教育学会理事長)		
1730-1930	懇親会	会場 福格大飯店17F (251新北市淡水區學府路89號)		